

日本獣医生命科学大学
平成 30 (2018) 年度
自己点検評価報告書
【概要】

自己評価委員会
平成 31 (2019) 年 3 月

平成 30(2018)年度日本獣医生命科学大学自己点検評価 「内部質保証システム」の概要

1. 概要

大学機関別認証評価(日本高等教育評価機構)の評価項目、並びに大学戦略会議にて決定した日本獣医生命科学大学単年度の事業計画及び中長期計画(第1期)の進捗状況を包括した8項目を内部質保証システムとして構築した。

【評価項目一覧】

- (基準1) 使命・目的等 [領域：使命・目的、教育目的]
 - (基準2) 学生 [領域：学生の受入れ、学生の支援、学修環境、学生の意見等への対応]
 - (基準3) 教育課程 [領域：卒業認定、教育課程、学修成果]
 - (基準4) 教員・職員 [領域：教学マネジメント、教員・職員配置、研修、研究支援]
 - (基準5) 経営・管理と財務 [領域：経営の規律、理事会、管理運営、財務基盤と収支、会計]
 - (基準6) 内部質保証 [領域：組織体制、自己点検・評価、PDCA サイクル]
 - (基準7) 平成 30(2018)年度 事業計画 [領域：教育、研究、学生支援、社会貢献・産学連携等]
 - (基準8) 中長期計画(第1期)の進捗状況 [領域：教育、研究、学生支援、管理運営等]
- ※基準1から基準6は大学機関別認証評価(日本高等教育評価機構)の評価項目
※基準7と8は学長の指示に基づき、大学戦略会議にて決定した事業計画の評価項目

2. 点検評価方法

平成 30(2018)年度日本獣医生命科学大学内部質保証システム管理シート(エクセル)を使用して実施し、その内容を自己点検評価報告書に転記する方法とした。

(1)基準1から基準6の評価方法

対応部署による「自己判定」に基づき、自己評価委員会が「自己評価」を実施する2段階方式にて実施。

【自己判定方式】

- ①『自己判定』『判定に対する事実の説明』『将来計画』を記載。必要に応じて使用したエビデンスを記載。
- ②『自己判定』は、「満たしている」「満たしていない」「どちらともいえない」の3段階。
- ③管理シートの左から2番目「自己判定の留意点」を参考に判定
- ④『判定に対する事実の説明』は簡潔に記述し、主観的な表現(感想文)にならないように留意。(×=～と思われる、～が必要だろう、～かもしれない)
- ⑤『将来計画』は将来の改善方策として、具体的に記述、期待や理想にとどまっていないか留意。(×=～が必要である、～を検討すべきである、～が課題である)
- ⑥対応組織・委員会等にて判定した内容に基づき、自己評価委員会が最終的な自己評価を行うため、具体的に記載。
- ⑦自己判定に基づき使用した資料等があれば別途提出。エビデンスとして「エビデン

ス集(データ編)」を利用。

【自己評価方式】

- ① 対応部署が作成した自己判定に基づき、事務局にてたたき台を作成。その内容を自己評価委員会にて確認し、完成させる。
- ② 『自己評価』は「満たしている」「満たしていない」での2段階。

(2) 基準7の評価方法

期中の中間報告・中間評価、期末の最終報告・最終評価の2段階にて評価を実施。

- ① 対応部署による9月30日現在の「進捗状況報告・説明」に基づき、自己評価委員会にて「中間評価」を実施し、対応部署にフィードバックする。
- ② 対応部署による3月31日現在の「最終報告」に基づき、自己評価委員会にて「最終評価」を実施し、確定する。
- ③ 自己評価委員会による自己評価方法は8人の委員による評価の多数が委員会の評価となる。半数の場合は委員長の評価を採用する。

(3) 基準8の評価方法

中長期計画の進捗状況の確認として自己評価委員会が評価を実施。

- ① 担当事務にて作成した平成31(2019)年3月末現在の取組み状況に基づき、基準7同様に評価を行う。

3. 平成30(2018)年度の評価結果概要

(1) 基準1：使命・目的等

〔領域：使命・目的、教育目的〕

評価結果

- | | |
|--------------------|----------|
| 1-1 使命・目的及び教育目的の設定 | 【満たしている】 |
| 1-2 使命・目的及び教育目的の反映 | 【満たしている】 |

主な改善・向上方策

- ・ 社会情勢変化やニーズに対応するための使命・目的の見直し
- ・ エンブレム等の見直し
- ・ 学内外に向けた継続的・有効的広報活動
- ・ 中長期計画や3つのポリシーへの反映は継続して実施

(2) 基準2：学生

〔領域：学生の受入れ、学生の支援、学修環境、学生の意見等への対応〕

評価結果

- | | |
|-------------|----------|
| 2-1 学生の受入れ | 【満たしている】 |
| 2-2 学修支援 | 【満たしている】 |
| 2-3 キャリア支援 | 【満たしている】 |
| 2-4 学生サービス | 【満たしている】 |
| 2-5 学修環境の整備 | 【満たしている】 |

2-6 学生の意見・要望への対応【満たしている】

主な改善・向上方策

- ・アドミッション・ポリシーに沿った入学者選抜の方法の検証と実施
- ・思考力・判断力・表現力の評価に配慮した試験問題の作成
- ・入学定員充足率 1.00 の厳格化
- ・RA 制度の導入
- ・オフィスアワーの効果的運用
- ・配慮が必要な学生に対する取組み
- ・TA 制度の活用と質向上
- ・低学年向けの取組み
- ・エビデンスに基づく学生支援サービスの充実
- ・学生支援の取組みの周知
- ・老朽化建物への対応
- ・ICT 関連設備等の更新・活用方法
- ・学生の意見や要望への計画的対応

(3) 基準 3：教育課程

〔領域：卒業認定、教育課程、学修成果〕

評価結果

- 3-1 単位認定、卒業認定、修了認定 【満たしている】
- 3-2 教育課程及び教授方法 【満たしている】
- 3-3 学修成果の点検・評価 【満たしている】

主な改善・向上方策

- ・ディプロマ・ポリシーを踏まえた各基準(単位認定や進級基準等)の検証
- ・ディプロマ・ポリシーを踏まえたカリキュラム・ポリシーの検証
- ・3つのポリシーの調査結果を改善に活用

(4) 基準 4：教員・職員

〔領域：教学マネジメント、教員・職員配置、研修、研究支援〕

評価結果

- 4-1 教学マネジメントの機能性 【満たしている】
- 4-2 教員の配置・職能開発等 【満たしている】
- 4-3 職員の研修 【満たしている】
- 4-4 研究支援 【満たしている】

主な改善・向上方策

- ・改組した事務組織の検証と改善
- ・研究室や部門体制の検討
- ・体系的な研修体制と専門的職員の育成
- ・生命科学総合研究センターの組織改組
- ・研究倫理に関するガイドラインの制定

- ・RA 制度の導入

(5) 基準 5：経営・管理と財務

〔領域：経営の規律、理事会、管理運営、財務基盤と収支、会計〕

評価結果

5-1	経営の規律と誠実性	【満たしている】
5-2	理事会の機能	【満たしている】
5-3	管理運営の円滑化と相互チェック	【満たしている】
5-4	財務基盤と収支	【満たしている】
5-5	会計	【満たしている】

主な改善・向上方策

- ・引き続き、理事会や評議員会等を開催
- ・理事長がリーダーシップを発揮できる環境の維持
- ・各所属の意見を汲み上げる方式の充実
- ・平成 31(2019)年度以降も黒字決算による安定した財務基盤を確立
- ・厳格な監査の維持
- ・環境変化に対応した補正予算編成の検討

(6) 基準 6：内部質保証 〔領域：組織体制、自己点検・評価、PDCA サイクル〕

評価結果

6-1	内部質保証の組織体制	【満たしている】
6-2	内部質保証のための自己点検・評価	【満たしている】
6-3	内部質保証の機能性	【満たしている】

主な改善・向上方策

- ・内部質保証システムの毎年の見直しによる質の向上
- ・有効性の高いエビデンスの作成とデータベース化
- ・学生や産業界の評価を取り入れた多様な内部質保証のあり方の検証

(7) 基準 7：平成 30(2018)年度 事業計画

〔領域：教育、研究、学生支援、社会貢献・産学連携等〕

評価項目数：108

評価結果

- ①達成している：91 (84.3%) (中間報告 73 (67.6%))
- ②どちらともいえない：17 (15.7%) (中間報告 35 (32.4%))
- ③改善が必要：0 (0.0%) (中間報告 0 (0.0%))

評価概要

- ・8割以上を「達成している」と評価、「改善が必要」と評価した項目は無し。
- ・2割弱が「どちらともいえない」評価であり、継続して改善が必要。
- ・7人以上が「達成している」と評価した項目は69項目、全体の約6割強。
- ・4人以上が「どちらともいえない」「改善が必要」と評価した項目は23項目、

全体の約2割強。

- ・1名以上が「改善が必要」と評価した項目は12項目、全体の約1割強。

(8) 基準8：中長期計画(第1期)の進捗状況 [領域：教育、研究、学生支援、管理運営等]

評価項目数：88

評価結果

- ①進捗している：3 (3.4%)
- ②やや進捗している：54 (61.4%)
- ③進捗していない：31 (35.2%)

評価概要

- ・「進捗している」「やや進捗している」が64.8%。
- ・「進捗していない」が35.2%。
- ・中長期計画は平成30(2018)年1月に制定され、1年数ヶ月経過した進捗状況。

本概要は、令和元年(2019)年度自己評価委員会にて平成30(2018)年度日本獣医生命科学大学自己点検評価「内部質保証システム」の概要を一部編集した。

以上